

研究充実や人材育成

八工大、八学大 県外大学と協定

八戸市の2大学が31日、人材育成や研究活動の充実のため、それぞれ県外の大学と協定を締結した。八戸工業大学は防災・減災の分野で東北大学(仙台市)と、八戸学院大学は教員養成で上越教育大学(新潟県上越市)と協力する。

八戸工業大のインフラ・防災技術社会システム研究



協定と覚書に署名した
法官学長(左)と川崎学長

センター(センター長・長谷川明学長)と東北大災害科学国際研究所(今村文彦所長)は、防災・減災対策などについて研究者や学生間の交流を深め、実験設備の相互利用なども推進する。これまで共同研究に当たってきた両大学の教員らによる交流を発展させる。八戸工業大で同日行った締結式で、長谷川センター長は「安全安心の提供は大きな課題。グローバルに展開する東北大と、北東北で展開する八戸工業大とで、

地域と世界に広がる活動ができれば」と述べた。

八戸学院大は協定・覚書により学生が上越教育大の大学院に進学しやすくなることで、八戸学院大で取得できない種類の教員免許取得を目指す仕組みをつくる。試験や入学料などで優遇措置を講じる。

八戸学院大で同日行った締結式で、同大学の法官新一学長と上越教育大の川崎直哉学長が協定書と覚書を交わした。法官学長は「教員を目指す学生にとって、より専門的で高度な学びの場が増える」と期待している」とあいさつした。

(新村菜穂)